

R7 全国学力・学習調査【理科】分析 R7年11月 元町中学校

領域別正答率について	課題	改善の方向
知識観点は全体的に若干低い。思考観点の考察をより豊かにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する出題に対して全国平均よりかなり高い正答率であった	考察をより確かなものにするために、知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明すること	探究の過程を見直して実験を計画したり、考察の妥当性を高めるための追加実験等を考えることができるような学習活動の充実
知識観点の出題で元素記号を記述する問題の正答率が全国平均よりかなり低いが、思考観点は全般的に前項平均より若干高い	基本的な元素記号の記述ができていない。化学変化を原子や分子のモデルで表すなど質的・実体的な視点で捉えること	目に見えない粒子をイメージし、抽象的な世界を原子や分子のモデルを動かして具体化できるような学習活動の充実
知識観点の呼吸を行う生物の選択問題で全国平均よりかなり高い正答率となっているが、全国がなぜ低いのか疑問である。思考問題も含め他は平均的な正答率である	共通性と多様性の見方を働きながら比較し、多面的・総合的に分析して解釈すること	観察、実験の目的やその方法について見通しを明確にするとともに、知識及び技能をそれぞれ関連付けて多面的、総合的に探究する学習活動の充実
地層の広がりを空間的に認識する出題で正答率が低かった。また若干、気圧に関する出題の正答率が低かった	小学校で学習した知識を基に、馳走に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒径とすき間の大きさに着目して分析解釈する力	時間的・空間的な見方を働きさせて、過去に起きたと考えられる事象を推論したり、地層の広がりを推論したりできるようにするために、大地の変化について考察したこと表現する学習活動の充実